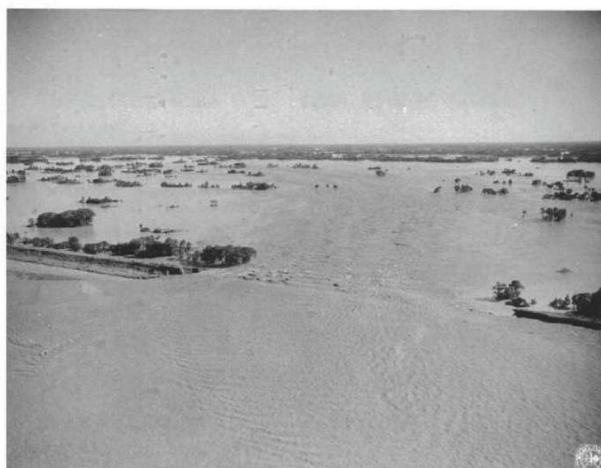




北埼玉郡東村(現:加須市)の決壊状況



下都賀郡生井村下生井(現:小山市)の被害状況

第32回 「治水の日」慰霊・継承式典



葛飾区の浸水状況



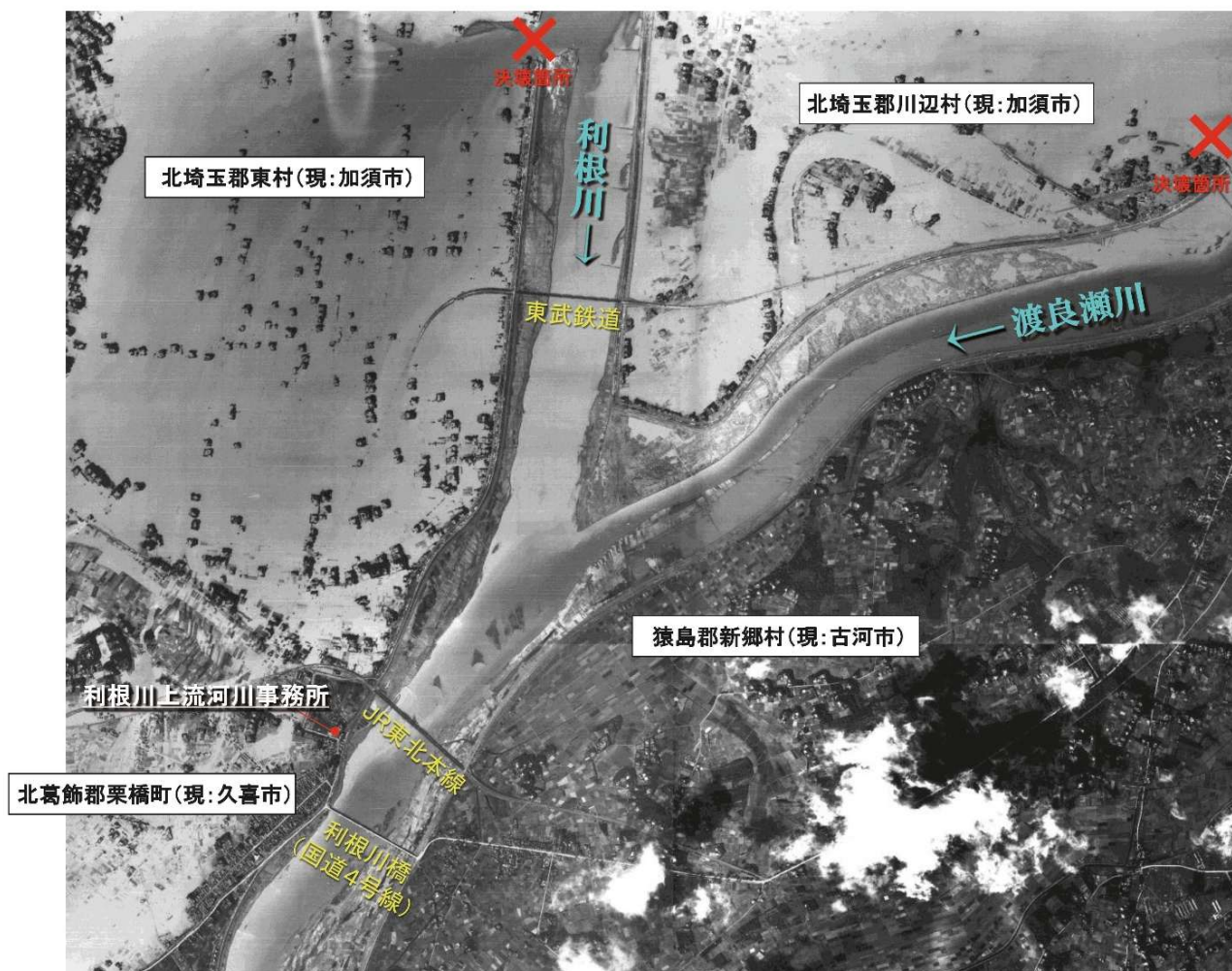
北葛飾郡栗橋町(現:久喜市)の浸水避難状況

■ 日時:令和8年9月16日(水)

■ 会場:大利根水防センター

国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所

カスリーン台風と「治水の日」



昭和22年9月8日、南方洋上に発生したカスリーン台風は次第に本州へと接近し、9月15日に房総半島南端を通過し関東・東北地方に多くの被害をもたらしました。カスリーン台風発生時、日本列島には秋雨前線が停滞していたため全国的に雨のところが多く、関東地方でもカスリーン台風が去るまでの間、熊谷で約338mm、秩父では約611mmという記録的な豪雨となりました。

このため、未曾有の大洪水となり、特に利根川上流域赤城山を中心とする山地一帯は土砂流出がおびただしく、甚大な被害を受けました。また、各河川で氾濫が起り、利根川本川でも埼玉県北埼玉郡東村(現:加須市)と茨城県猿島郡中川村(現:坂東市)で決壊し、特に東村の決壊による氾濫流は埼玉県下にとどまらず、東京都葛飾区、江戸川区にまで到達し、東京湾へと流れました。カスリーン台風による被害は関東地方で家屋の浸水約303,160棟、家屋の倒壊・半壊約13,381棟、死者1,100人にのぼりました。

なお、カスリーン台風による被害を受け建立された決壊口跡の碑は、利根川本川、渡良瀬遊水地周辺に4ヶ所ありますが、「戦争の噪音にまぎれて治水を怠った」「この国土に住む限り治水を疎かにしてはならない」という強い決意文が述べられています。

このような、カスリーン台風の甚大な災害の教訓を踏まえ、犠牲者のご冥福を祈るとともに、その記憶を後世に語り継ぎ、利根川の治水事業の重要性を広く理解して頂くことを目的として、平成4年から利根川の堤防が決壊した9月16日を「治水の日」と制定し、以来、毎年この時期に「治水の日」式典を開催しています。

式典プログラム

「決潰口跡の碑」の前において、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、この教訓を風化させることなく後世に語り継ぎ、利根川の治水事業の重要性を広く理解して頂けるよう開催するものです。

9:30 ・開 式

・式 辞／利根川上流河川事務所長 永松 義敬

・挨拶／関東地方整備局長 西澤 賢太郎

加須市長 高橋 稔裕

・来賓挨拶／利根川治水同盟 副会長 野中 厚

・来賓紹介／国会議員

首長等

議長等

関係行政機関

・献 花／御遺族代表

・黙 祷

・決意文の宣誓／加須市長 高橋 稔裕

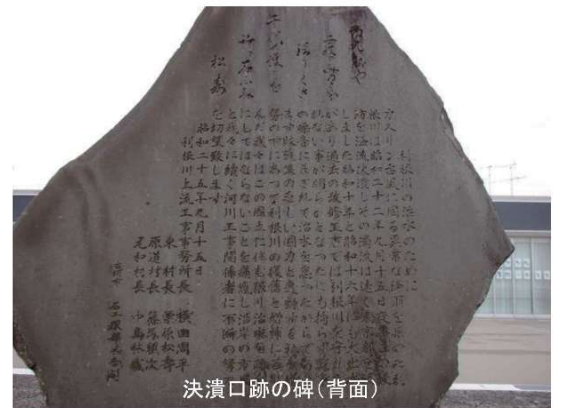
久喜市長 貴志 信智

利根川上流河川事務所長 永松 義敬

10:30 ・閉 式



決潰口跡の碑(埼玉県加須市新川通地先)



決潰口跡の碑(背面)



カスリーン台風の碑(埼玉県加須市新川通地先)



決潰口跡の碑(栃木県小山市生井地先)

利根川の治水のために

カスリーン台風に因る異常な降雨を集めた利根川は昭和二十二年九月十五日夜半この堤防を溢流決潰しその濁流は遠く東京都を侵しました昭和十年と昭和十六年にも大出水があり過去の改修工事では利根川を守りきれない事が明らかとなったにも拘らず戦争の噪音にまぎれて治水を怠ったからであります敗戦後の乏しい国力と変動する社会情勢の下にあって利根川の復舊と増補に苦しんだ我々はこの国土に位む限り治水を疎かにしてはならないことを痛感し沿岸の方々和我々に続く河川工事関係者に不断の努力を切望致します

昭和二十五年九月十五日

利根川上流河川事務所長 横田周平

東 村長 栗原松壽

原道村長 篠塚頼次

元和村長 中島林蔵



国土交通省 関東地方整備局

利根川上流河川事務所

〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北二丁目19番1号

TEL : 0480-52-3952(代表)

URL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>

E-mail : ktr-tonejo-keikaku@mlit.go.jp

○利根川に関する情報はこちら

■利根川上流河川事務所 HP

<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>



■利根川上流河川事務所 X

https://x.com/mlit_tonejo/



■川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>

